

(参考2) 第1期中期目標期間統計センターの業務実績に関する項目別評価結果(案)のポイント

A A(目標を100%を超えて達成)

業務運営の高度化・効率化	情報通信技術の積極的な導入・活用により、業務運営の高度化、効率化を推進し、基盤を積極的に整備、業務経費の目標である「3%以上削減」を大きく上回る9.8%(1.1億円)削減の実現、組織体制を事務の種類ごとの機能別組織体制とすることによる業務の繁閑に応じた職員の機動的配置の実現など
国勢調査	調査票イメージデータ及び索引データベースの活用、新産業分類格付システムの適用、結果表審査事務のシステム化、符合格付事務等のシステムの動作環境の向上などに加え、最も基本となる統計調査であることから統計センター全体の業務効率化を図ることに寄与
社会生活基本調査	生活時間行動分類符号格付の自動格付、データチェック審査事務のPC化、結果表審査事務の見直しなどにより、第1期中期目標期間全体での投入量が対従来比-17%の大幅削減
小売物価統計調査	新製表システムへの全面移行、各年度における業務の繁閑に即応した人員配置、職員の専門性の向上などにより、中期目標期間全体での投入量が従来比-23%

B(目標の80%程度以上を達成)

国土交通省土地・水資源局委託業務 国土交通省土地・水資源局委託業務のうち、平成15年住宅・土地統計調査と区別集計の速報集計においてデータの取扱い誤りなどのため、製表結果の提供が遅れたため、B評価とした。

その他の評価項目については、中期計画の着実な実施により、A評価とした。

これにより

AA : 4、A : 3 3、B : 1

【参考】各年度の評価結果

	AA	A	B
15年度	4	2 4	4
16年度	3	2 3	3
17年度	3	2 4	1
18年度	4	2 4	0
19年度(案)	5	2 6	1